

h21施工 問題1

施工計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- | | |
|---|---|
| 1 | コンクリートの打込みで設備が隠蔽となる部分の工事の検査を工程の都合により行うことができない場合には、当該工事の監理者の承諾を受け、工事写真等による記録を残して工事を進める計画とした。 |
| 2 | 軽量コンクリートの打込みをコンクリートポンプにより行うに当たって、高所圧送や長距離圧送の場合には、輸送管内での閉塞等を避けるため、輸送管の呼び寸法を125Aとする計画とした。 |
| 3 | ALCパネル工事の工程計画の作成において、ALCパネルの受け材の検討については、鉄骨図の監理者による承認の後に行う計画とした。 |
| 4 | 山留め工事において、敷地の高低差が大きく、偏土圧が作用することが予想されたので、地盤アンカー工法を採用する計画とした。 |

解答（正解肢3）

- | | |
|---|---|
| 1 | <input type="radio"/>
コンクリートの打込みで設備が隠蔽となる部分の工事の検査を工程の都合により行うことができない場合には、監理者の承諾を受け、工事写真等による記録を残して工事を進める計画とする。 |
| 2 | <input type="radio"/>
軽量コンクリートの打込みをコンクリートポンプにより高所圧送や長距離圧送を行う場合は、輸送管内での閉塞等を避けるため、輸送管の呼び寸法を125A以上にする計画とする。 |
| 3 | <input checked="" type="radio"/>
ALCパネル工事の工程計画の作成において、下地鋼材の検討は、鉄骨に取り付けるため、鉄骨図の検討と同時にに行わないといけない。 |
| 4 | <input type="radio"/>
山留め工事において、敷地の高低差が大きく、偏土圧が作用することが予想されたので、地盤中に埋め込んだアンカーによって抵抗力とする地盤アンカー工法を採用する計画とする。 |